

タブレット端末で創る新しい授業のかたちを目指して
—「ページめくり機」から「知識構築促進メディア」への飛躍に向けて(3)—

オーガナイザ :

平嶋 宗 (広島大学)、柏原 昭博 (電気通信大学)、鷹岡 亮 (山口大学)
長谷川 忍 (北陸先端科学技術大学院大学) 林 雄介 (広島大学)

タブレット端末は、授業の形を大きく変える可能性を持っている。本ワークショップの目的は、タブレット端末を教室に持ち込むことによって可能となる新しい授業の形を探ることである。コンピュータを用いた学習支援に関する研究は、これまでも盛んに行われてきており、ある程度の成功を収めているといえる。しかしながら、自宅での利用であったり、学校内であってもコンピュータ室におけるいわば特殊な形態での利用であった。これらに対して、タブレット端末は教室に持ち込み、個々の机の上で用いることができる。つまり、日常的な授業が行われている教室においてその授業の中で活用が可能な道具であるといえる。タブレット端末が教室に導入されるということは、多くの教授者にこの道具を活用する環境が提供されるということであるとともに、それらを授業において使いこなす義務を教授者に負わせることになるであろう。しかし、フューチャースクールやICT絆プロジェクトなど、教室へのタブレット端末導入の試みが既に行われており、近い将来にタブレット端末が導入された教育現場は特殊なものではなくなるであろうともいえる。このような状況を踏まえれば、単なる導入事例としてではなく、タブレット端末を生かした新しい授業の形を創ることを目指したワークショップを開催することの意義は大きいといえる。なお、本ワークショップは2011・2012年度本学会全国大会において開催された同じ主旨のワークショップに引き継いで行われるものである。

なお、本ワークショップはオーガナイザが依頼した研究発表と討論会の形式で実施する予定である。

■ 開催日時 : 9月2日 (月) 9:00~11:50

■ 内容

第1部 : タブレットの可能性

9:00~9:40

- (1) 「ページめくり機」から「知識構築促進メディア」へ : タブレット端末の可能性、平嶋宗 (広島大学)
- (2) タブレットメディアがもたらす新しい認知ツール、柏原昭博、塩田剛 (電気通信大学)

第2部 : 実践的試み

9:40~10:40

- (3) キーワードベースの学びから構造ベースの学びへ : 広島大学附属小学校での算数と理科の実践事例、林雄介、平嶋宗 (広島大学)
- (4) フィールドトリップからの学びを支援するタブレットメディア、金子拓司、柏原昭博 (電気通信大学)、鷹岡亮 (山口大学)
- (5) 上越教育大学付属中学校のフューチャースクール推進事業・学びのイノベーション推進事業への取り組みにおけるタブレットPCの利活用、清水雅之 (上越教育大学)

第3部 : タブレット利用体験セッション

10:50~11:20

第4部 : パネル討論 : タブレット端末が可能にする学びを探る 11:20~11:50